

# 岡山県スマート農業技術開発プラットフォームに関するQA(未定稿)

R6(2024)年1月

産学連携推進課

## 2 プラットフォームの部門別交流（プラカフェ）について

### ⑬部門別交流（プラカフェ）とは、何ですか？

「水田作」「野菜・花」「果樹」「鳥獣害」の4つの部門に分かれ、会員企業と生産現場の課題を把握している県（農業研究所、農業普及指導センター（以下「普及センター」という））の担当者が気軽に交流する場（愛称：プラカフェ）です。

### ⑭なぜ、部門別交流（プラカフェ）を実施するのですか？

会員を対象としたアンケート結果や事務局による巡回から、会員企業からは、「県内産地をもっと知りたい」、「試作機を使いたいが農家を知らない」などの意見があり、普及センターからは、「農業機械のメーカーと直接話をする機会が少ない」などの意見がありました。

このため、情報交換会に加え、生産現場の課題を把握している普及センターも加わった交流が必要と考えました。

### ⑮部門別交流（プラカフェ）の目的は何ですか？

主な目的は、県担当者との交流促進や会員企業における県内農業、地域の課題に対する意識の共有です。さらに「カフェ」のような、自由な会話を通じて新たな商品開発に向けた「きっかけづくり」を期待しています。

### ⑯なぜ「水田作」「野菜・花」「果樹」「鳥獣害」の4つの部門を設けるのですか？

会員企業の技術分野はそれぞれ異なること、農業研究所や普及センターでは「水稻・麦・大豆」「野菜」「果樹」「花」などの項目に分かれており、項目ごとに生産現場の課題を把握できるからです。

### ⑰部門別交流（プラカフェ）は、具体的にどのように行うのですか？

事務局（産学連携推進課）が部門ごとに農業研究所、普及センターと開催時期や内容、出席者等の調整を行い、その後、会員企業や大学等に対して開催案内を行います。

### ⑱「鳥獣害」は、どのように実施するのですか？

鳥獣害対策は、普及推進課や県民局（森林課、農畜産物生産課）にも参加を呼び掛け、事前調整を行った上で、実施する予定です。

⑱生産者やJA職員が参加しても良いですか？

参加者は、プラットフォーム会員企業や協力機関を想定していますが、開催場所や時期、課題の内容に対応して、生産者やJA職員も参加可能です。

⑳参加費は必要ですか？

参加費は、無料です。参加にあたりましては、あらかじめ、岡山県「スマート農業プラットフォーム」へのご加入をお願いします（スマート農業プラットフォームの入会金や年会費も不要です）。

㉑留意点はありますか？

企業の商品PRのみを目的とした参加は、お断りします。プラットフォーム活動の目的を理解した上での参加をお願いします。

㉒開催実績を教えてください。

以下のとおり開催しました。

		開催日	部門	主な課題	場所	参加人数
令和3年度	1回目	7月28日	野菜	トマトの裂果軽減（果皮色による裂果予想）	高梁市川上	23人
	2回目	8月6日	水稲	機能を水位測定に絞った水位計の開発	新見市大佐	14人
	3回目	—	果樹	微小な害虫が早期に確認できる機械・器具の開発	倉敷市船穂	緊急事態により中止
	4回目	10月14日	野菜	アスパラガスの健全葉量の数値化	矢掛町	20人
	5回目	11月18日	野菜	トマト収穫量自動集計秤の開発	鏡野町	21人
令和4年度	1回目	10月3日	果樹	微小な害虫が早期に確認できる機械・器具の開発	倉敷市船穂	28人
令和5年度	1回目	10月4日	水稲	画像をもとに生育診断、収量診断を行う機械・器具等の活用、診断ツールの開発	赤磐市（農総センター）	27人